

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市公会堂

団体名：K N S 共同事業体

(株)共立、(株)名古屋共立、サンエイ(株)

※複数の団体により構成されるグループは
各構成団体の名称もあわせて記入する。

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

<基本方針>

1. 文化活動・交流の場としての活用と相談・支援機能の充実
2. 豊富なネットワークを活用した事業誘致による鑑賞機会の提供
3. 開館 100 周年へ向けた歴史的価値の更なる発信と機運醸成

②管理運営体制

<職員配置・養成計画>

- ・ 館長をはじめ、専門性が高く幅広い視野と管理能力に優れた職員を配置する。
(公会堂の歴史的価値や保護等への理解を含む)
- ・ 館長不在時には、副館長(管理業務責任者／劇場業務責任者／設備業務責任者)の 3 名が、
その責務を代行する。
- ・ 指揮命令系統を明確化すると同時に、全職員をマルチジョブ化する。

<人材育成方針>

- ・ 全職員のサービスレベルの統一とホスピタリティ溢れる運営につなげるため、
各種マニュアル整備・研修等により、各業務においてその方針に沿った人材育成を実施する。

<情報の保護・公開／法令遵守(コンプライアンス)に関する計画>

- ・ 各種法令に遵守した情報の保護・公開を行う。
- ・ 情報管理の責任を明確化した管理体制を構築する。
- ・ 個人情報保護、コンプライアンスに関する各規定を運用し、社会からの信頼獲得を目指す。
- ・ 各種マニュアルの整備・更新、研修等を行う。

(2) 実施業務の計画について

①指定管理業務

<一般の施設利用に供する業務>

- ・ 施設貸出業務／問合せ・要望・苦情等対応業務／情報提供業務
利用打合せ業務／舞台管理業務／利用者満足度調査業務／利用促進業務
相談業務／支援業務／フリースペースの活用 等

<施設維持管理・安全管理に関する計画>

- ・ これまでの実績やノウハウにもとづいた、確実な維持管理・安全管理業務を遂行する。
- ・ 関連法令等に準じた専門資格保有者及び豊富な知識や経験を持つ職員を配置する。
- ・ 事故・災害発生等に備えては、危機管理マニュアルに基づく防災・避難・緊急対応訓練等を行いながら、日ごろから緊急時の体制・役割分担や情報連絡系統を明確化する。
- ・ 万が一に備え、共同事業体として各種保険に加入する。

<施設の平等利用に関する計画>

- ・ 利用規則(ルール)の周知徹底と確実な予約手段の実施、また必要な情報の公開を行うなど、施設運営の透明性を確保し、利用者の理解が得られるよう努める。
- ・ 施設予約マニュアルを整備し、いつでも誰でも同じ手順で施設予約の受付を確実に行う。
- ・ 帳票管理システムを活用し、作業を効率的かつ確実化する。
- ・ 苦情の未然防止に努め、苦情発生時には迅速かつ真摯な対応を徹底する。
事象は全職員に共有・関係機関に報告し、内容及び対応方法は記録化し再発防止に努める。
- ・ 要望について、即時対応可能なものは利用者サービスの一環として反映する。
寄せられた意見・要望は、集計・分析・検討のうえ、必要に応じ名古屋市へ報告・相談する。

<文化活動に関する相談体制>

- ・ 相談対応責任者である館長をはじめ、職員が専門分野に応じ、あらゆる文化活動に対する相談サポート(利用相談／鑑賞・体験／情報提供／紹介 等)を行う。
- ・ 相談窓口として、直接来館・電話・メール・各種問合せフォーム等を設置する。

<文化活動に関する支援計画>

- ・ ホール利用者に対して、催事実施に関わる各種サポート(事前打合せ・情報提供 等)を行う。
- ・ ホール以外の施設利用者・来館者にも、利用目的・内容に合わせた各種支援を行う。
- ・ 施設利用者に限らず、「名古屋市文化芸術推進計画 2025」にあるように、名古屋市の「文化芸術の底上げとすそ野拡大」にも寄与する。

<歴史的価値の発信に関する計画>

- ・ 歴史的建造物として保存・保全し、後世に引き継ぐ。
- ・ ハード面(維持管理)とソフト面(運営・事業)の両面から、歴史的価値の発信に取り組む。
- ・ 歴史的価値や魅力の発信にあたっては、各種媒体を利用したプロモーションや事業実施の中に取り入れながら展開する。

＜サービスの向上に関する計画＞

- ・ 運営・施設管理の両面から、利用しやすく満足度の高いサービスを実施する。
- ・ アンケート等によりニーズを把握し、各種サービスに反映させる。
また、調査結果は掲示等により見える化し、寄せられたご意見に真摯に向き合う。

＜利用促進に関する計画＞

- ・ 公会堂という大きな括りからブレイクダウンさせ、各施設に特化した利用促進策を講じる。
- ・ 公会堂の持つポテンシャル(特性・魅力)を最大限に活かしたプロモーションを行う。

＜舞台芸術公演等の誘致に関する計画＞

- ・ 舞台芸術業界の動向等を分析し、プロモーター等に対し効果的な公演誘致を行う。
- ・ 全国展開する共立グループのネットワークにより、早い段階での情報収集と誘致活動を連携して実施する。

＜市民利用の環境づくりに関する計画＞

- ・ 市民の思い描く催事実現のため、利用受付(相談)から終了まで一貫したサポートを行う。
- ・ 新規利用者からリピーター、さらにはマイノリティ層まで、利用者特性に合わせた利用環境づくりに取り組む。
- ・ 最新の利用ニーズに対応するとともに、周辺団体とも連携し、あらゆる側面からアプローチする。

＜フリースペースの活用に関する計画＞

- ・ 館内のあらゆる場所をフリースペースとして活用し、コンサートや歴史発信(展示等)など、誰もが気軽に集い、賑わいや交流が生まれる空間とする。
- ・ 一般にも広く利用可能とし、市民に文化活動の場を提供する。

②自主事業（実施を予定する場合）

—

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

<各年度ごとの提案総額(各年度ごとの総計)>

(単位：千円)

年 度	金 額
令和 7 年度	201, 814
令和 8 年度	202, 839
令和 9 年度	203, 864
令和 10 年度	204, 900
令和 11 年度	205, 936
合 計	1, 019, 353

<期間を通じた収支計画(指定期間を通じた項目別内訳)>

【収入】

(単位：千円)

費 目	内 容	金 額
指定管理料	名古屋市からの指定管理料	299, 000
利用料金収入	ホール・集会室・附属設備 等	677, 853
その他収入	事業収入・自動販売機収入 等	42, 500
収 入 計		1, 019, 353

【支出】

(単位：千円)

費 目	内 容	金 額
人件費	職員人件費 等	528, 600
光熱水費	電気・ガス・水道料金	168, 303
事務費	消耗品費・通信費・印刷費 等	49, 210
管理費	修繕費・委託料 等	232, 495
その他支出	事業費・保険料・租税公課費 等	40, 745
支 出 計		1, 019, 353

※額には消費税及び地方消費税を含む。